

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【公表番号】特表 2006-522102(P2006-522102A)

【公表日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【年通号数】公開・登録公報 2006-038

【出願番号】特願 2006-507106(P2006-507106)

【国際特許分類】

A 6 1 K 49/00 (2006.01)

A 6 1 K 41/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/409 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 14/655 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 49/00 Z N A A

A 6 1 K 41/00

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/409

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 14/655

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 7 日 (2007.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) ターゲティング分子；

b) イメージング分子；および、

c) 光線力学的療法 (PDT) 分子 (ここで、該 PDT 分子は 2 光子吸収 PDT 剤である)

を含有する、三機能性剤。

【請求項 2】

更に少なくとも 1 つのリンカー分子を含有する、請求項 1 記載の三機能性剤。

【請求項 3】

該ターゲティング分子はタンパク質である、請求項 1 または 2 のいずれかに記載の三機能性剤。

【請求項 4】

該タンパク質はペプチドである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の三機能性剤。

【請求項 5】

該ターゲティング分子は細胞表面受容体のリガンドを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の三機能性剤。

【請求項 6】

該リガンドは細胞表面受容体のリガンドのフラグメントを含む、請求項 5 記載の三機能性剤。

【請求項 7】

該イメージング分子は発色団である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載の三機能性剤。

【請求項 8】

該イメージング分子はフルオロフォアである、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載の三機能性剤。

【請求項 9】

該 P D T 分子はポルフィリンである、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載の三機能性剤。

【請求項 10】

該 P D T 分子は置換ポルフィリンである、請求項 9 記載の三機能性剤。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 つに記載の三機能性剤を患者に投与し、そして該 P D T 剤を活性化するのに十分な光を投与することを含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 つに記載の三機能性剤。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 つに記載の三機能性剤および医薬的に許容し得る担体を含む、医薬組成物。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 つに記載の三機能性剤および医薬的に許容し得る担体を含む、癌をイメージングしそして処置するための医薬組成物。